

がんプロ大学院生募集中!

コース概要

研究科	大学院医学薬学総合研究科
専攻名	生命医療学専攻
養成する専門分野	がん薬物療法やサポーターケアに従事する薬剤師（各種認定・専門薬剤師など）、がん薬物治療分野における研究者
人数	若干名
修業年	4年（長期履修制度あり）
授与する学位	博士（薬学）

修了要件と履修方法

本学に4年以上在学し、下記の合計35単位以上を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【共通科目】

- ・ 合計3単位

【ベーシック科目】

- ・ 合計5単位以上

【専門科目】

- ・ 腫瘍学特論、免疫・発がん特論を含む合計5単位以上

【特別科目】

- ・ 特別演習Ⅰを合計6単位（主科目：2単位、副科目1：2単位、副科目2：2単位）
- ・ 特別演習Ⅱを合計2単位（主科目）
- ・ 特別研究を合計14単位（主科目）

がんプロフェッショナル養成プラン がん薬剤師養成コース

「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランとは

がんは、我が国の死因第一位の疾患であり、生涯のうちに約2人に1人が、がんにかかると推計されるなど、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっており、新たながん対策が求められています。

「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランは、大学間の連携による「がん医療人材養成拠点」において、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、優れた「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」を養成することで、我が国におけるがん医療の一層の推進を目的としています。

和歌山県立医科大学は、大阪大学を中心に、兵庫県立大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、森ノ宮医療大学と共同でこの養成プランを実施しており、これら6大学がそれぞれの特徴を生かして連携することにより、がん専門医療人材を養成し、地域のがん医療の向上を図ることを目的としています。

本学には、従来より、緩和医療専門医養成コース、がん薬物療法専門医養成コース、がん看護専門看護師養成コースが設置されていますが、令和5年度には病理診断科育成コース、がん医療ビッグデータ利活用ベーシックコース（インテンシブコース）が、令和6年度よりがんリハビリテーション看護インテンシブコースが、令和7年度には薬学部のがん薬剤師養成コースが新たに開設され、さらに充実した研修内容となっています。

大学院生募集

令和9年度 公立大学法人和歌山県立医科大学
大学院 医学薬学総合研究科（博士課程）
がん薬剤師養成コース

【募集要項】

1. 入 学 期 日： 令和9年4月1日
2. 募 集 人 員： 若干名
3. 入学志願者資格： 大学の薬学を履修する課程を卒業した者、又は令和9年3月までに卒業見込みの者、又は同等以上の学力があると認められた者
4. 出 願 手 続： 出願者は、所定の提出書類を取り揃えて本学学生課に提出すること。
5. 学 費 等： 入学金 282,000円 授業料 535,800円（毎年5月、11月の2回に分納する。）他
6. 受付及び試験
事務取扱場所： 〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学学生課入試学務班 TEL (073) 441-0702

詳細はホームページでご確認ください。

<https://www.wakayama-med.ac.jp/nyushi/daigakuin-sougou/boshuyoukou.html>



教育内容の特色など

近年のがん薬物治療は日進月歩です。これからのがん専門薬剤師には、国内外の最先端治療法についての最新の知識に基づき、多様化するがん薬物療法および支持療法の中から各世代の患者ごとに最適化された方法を選択・提案する能力が要求されます。

本プログラムでは、臨床現場で活躍する薬剤師や医師と情報交換を行う機会を積極的に設け、必要に応じて医療施設で短期研修を行う体制を構築します。さらに、コース在籍中には、がんプロ大学院生に指導教員をマンツーマンでつけ、がん専門薬剤師資格の取得に必要な専門知識の習得を目指します。

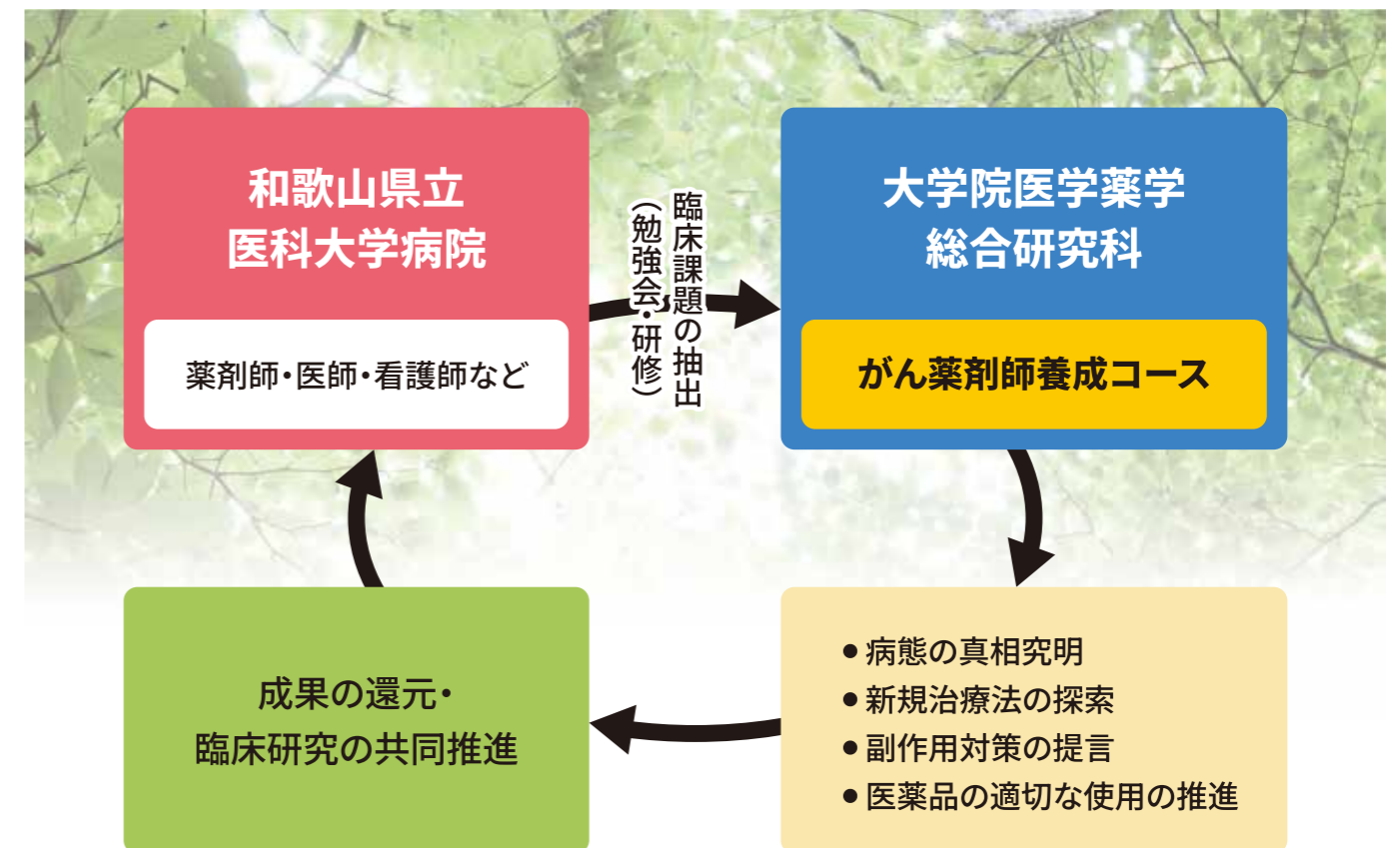
修了後の進路・キャリアパス

- がん薬物療法やサポーターケアに従事する病院・薬局薬剤師
(各種認定・専門薬剤師など)
- がん薬物治療分野における研究者
大学や研究所において、がんやがん薬物療法の創薬・育薬研究を推進する高度医療人材

卒後はチーム医療の中で他職種と連携しながらがん薬物療法・支持療法を実践し、**チームを牽引できる医療者**(病院、薬局薬剤師など)、**がん薬物療法・支持療法を研究する医療人**(大学、研究所、製薬企業における研究者)となることを目指します。

コースで育成する人材像

多様化するがん薬物療法および支持療法についての高度な知識を有し、他職種と連携しながらグローバルな視点でがん治療や抗がん剤副作用の管理が実践できるがん専門薬剤師を育成します。さらに、薬剤師免許を有する研究者・高度技術者、医療行政、地域医療において活躍できる高度医療人材・リーダーを養成します。



コース責任者：教授 今井 哲司



本プログラムは、県内外での医療施設における短期研修や医師・薬剤師・看護師との情報交換を通して、複雑化するがん薬物療法および支持療法の薬剤選択アルゴリズムについて学ぶだけでなく、臨床における clinical question について積極的に調査・研究して答えを見出し、臨床現場に還元することができる薬剤師の養成を目指します。

また、副作用や効果の予測による個別化化学療法の研究者であり、かつ薬物チーム医療の先導者というバイリンガル医療人の養成という点も大きな特色としています。

